

3月定例会の概要

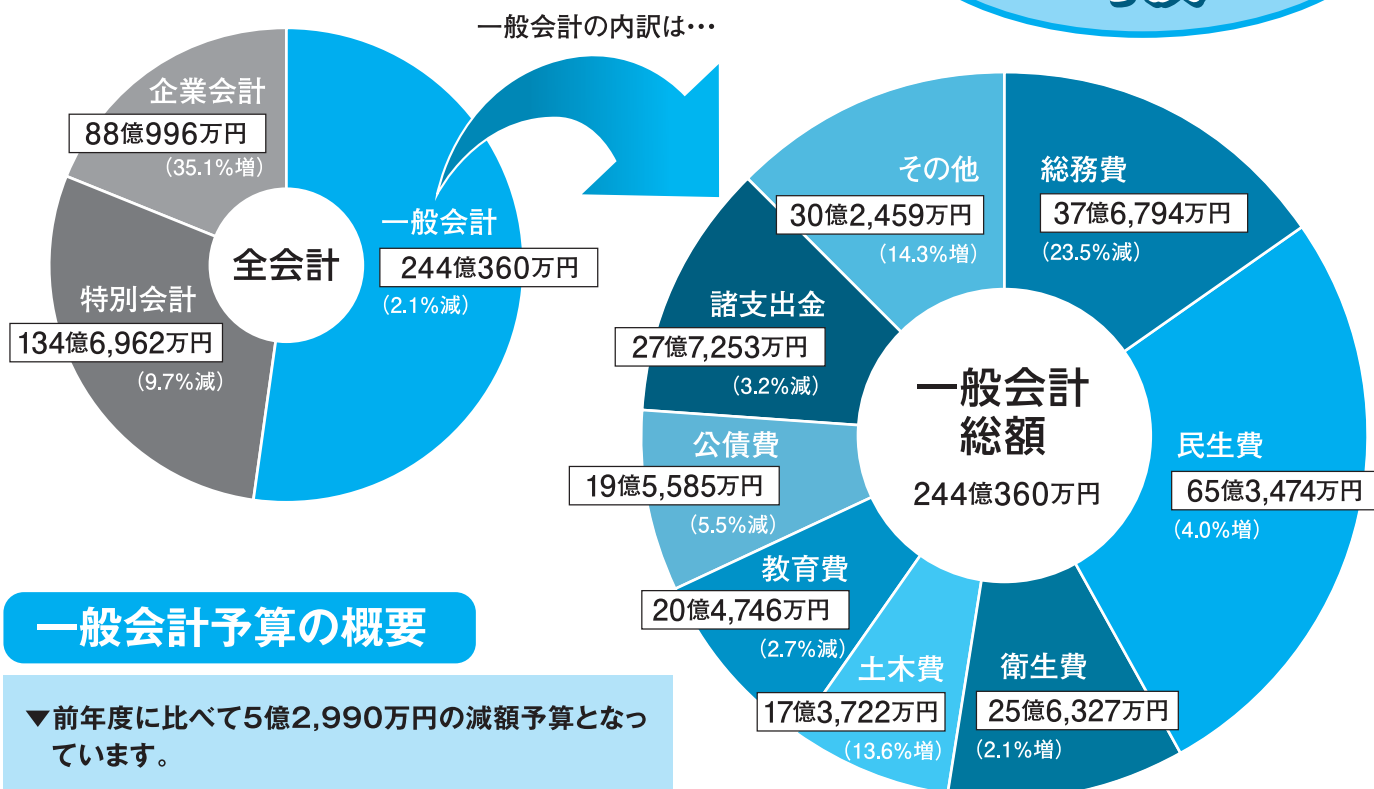
3月定例会では、初日に市長から施政方針が示されるとともに令和2年度の一般会計など11会計の予算案を初め、条例制定案2件、条例の一部改正案8件、令和元年度補正予算案6件の計27件が提案され、各常任委員会での審査を経て、いずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日には市長より提出された人事案件2件及び議会運営委員会より提出された坂出市議会基本条例の一部改正案など3件が追加提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

(議案の審議結果は10ページをご覧ください。)

令和2年度 一般会計・特別会計・企業会計予算

総額
**466億8,318万円を
可決**



一般会計予算の概要

- ▼前年度に比べて5億2,990万円の減額予算となっています。
- ▼歳入では、地方交付税及び地方消費税交付金は増収が見込めるものの、法人市民税や固定資産税を初めとする市税において、前年度に比べて1億4,980万円の減収が見込まれます。
- ▼歳出では、新庁舎の建設も最終年度を迎え、投資的経費について減額が見込まれる一方で、会計年度任用職員制度への対応により人件費の増額などが見込まれています。さらには、本市の最重要施策である人口増対策として、公立認定こども園の整備事業や健康推進事業に積極的な予算投入がなされました。
- ▼中小企業支援センター(Biz)の設置、防災対策経費への重点配分など多額の一般財源を要する事務事業への対応を講じた結果、生じた財源不足約6億700万円については、財政調整基金からの繰入金により対応しました。

用語解説

一般会計

福祉や教育など市民のために広く使われる会計のこと

特別会計

一般会計とは別に国民健康保険事業や介護保険事業など、特定の目的のために使われる会計のこと

企業会計

病院事業や下水道事業のように利用者が負担する経費(診察料や使用料)によって運営される会計のこと

財政調整基金

年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金、市の貯金のようなもの

